



市立岸和田市民病院だより

うらら

第15号
令和3年9月

【発行】
市立岸和田市民病院
広報委員会

特集 チーム医療

- 呼吸ケアチーム
- 栄養サポートチーム
- 口腔ケアチーム



提供：岸和田市立八木南小学校

当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」です

【目次】

- P.2…… 【特集：チーム医療】
- ・呼吸ケアチーム
 - P.3…… ・栄養サポートチーム
 - P.4…… ・口腔ケアチーム
- 編集後記

～基本理念～

- ・市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

～基本方針～

- ・市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、
良質で高度な
医療を提供します。

チーム医療とは

患者さんを中心に、主治医、看護職、コメディカル等の職種が組織横断的に協力して、専門性の高い治療やケアに当たることです。各職種間は業務を分担しつつ、互いに連携、補完し合い、患者さんの状況に的確に対応した医療を提供しており、疾病の早期発見、早期回復、重症化予防など生活の質（QOL）の維持、向上などの効果をもたらしています。



～呼吸ケアチーム～

呼吸ケアチームの活動

呼吸は、生命の維持に必要不可欠なことでありながら、普段は無意識に行われています。しかし、ひとたび病気によって呼吸機能に問題が起ると、会話や食事時に息切れがしたり、息が苦しくて夜もゆっくり眠れないなど、日常生活に多くの支障を生じます。自分自身で呼吸をすることが困難になった場合には、人工呼吸器という機械で呼吸をサポートすることがあります。また、取り込む酸素が不足している場合には、濃度の高い酸素を吸入することが必要になります。

呼吸ケアチームでは、医師、理学療法士、臨床工学技士、看護師で協力し合い、呼吸に関する全般的な医療をサポートしています。具体的には、人工呼吸器や酸素を必要とする患者さんが、一日も早く普段の生活に戻れるような支援や、より楽に呼吸ができるようリハビリテーションについて、主治医や病棟の担当看護師と共に考えます。また、人工呼吸器や酸素療法に必要な機材を整備し、適切かつ効果的に使用できるようマニュアルを作成しています。各病棟からの依頼に応じて、チームメンバーで協力し、実際の場面を想定した研修を企画・開催することもあります。



呼吸ケアチームメンバー

～研修風景～

呼吸器内科医師、人工呼吸器管理や呼吸ケアの経験を有する看護師（専門看護師1名、認定看護師2名）、臨床工学技士、理学療法士で、呼吸に関するサポートを必要とする患者さんの元へ伺います。

上記のメンバーに加え、各病棟に1名ずつ配置されている呼吸ケアリンクナースと協力して、呼吸ケアの向上に努めています。

～ 栄養サポートチーム ～

NST(栄養サポートチーム)の活動

NSTとは、Nutrition Support Team (栄養サポートチーム)の略で、栄養管理における専門的な知識を持つ様々な職種により構成された医療チームです。

栄養状態を良好に保つことは、治療効果を上げることに大きな役割を持ち、合併症を予防することにつながります。病気に伴う食欲不振のため食事摂取が困難な患者さん、術後で栄養管理が必要な患者さん、嚥下機能が低下し経口摂取が困難になった患者さんなど、NST回診の対象となる患者さんにはいろいろなケースがあります。毎週1回病棟回診を行い、主治医や担当看護師からの依頼に基づき、チームで病気や栄養状態を確認しながら必要な栄養量や食べやすくする工夫、嗜好に合わせた食事の調整、口から十分な食事をとることが難しい場合の改善策等を検討し、適切な栄養補給方法の提案や早期回復や合併症予防に有効な栄養管理方法の提案などを行っています。また、褥瘡対策チームや摂食・嚥下ケアチーム等と連携して患者さんのQOL（生活の質）の向上を目指し、最適な栄養サポートをチームで協力し努めています。



～ミーティング風景～

NSTメンバー

医師（TNT修了）、摂食・嚥下障害看護認定看護師、看護師（NST専門療法士）、薬剤師（NST専門療法士）、管理栄養士（NST専門療法士）、臨床検査技師、言語聴覚士により構成され活動しています。

～ 口腔ケアチーム ～

口腔ケアチームの活動

歯と口腔には、食べること、話すこと、表情をつくること、平衡感覚を保つことなど様々な働きがあります。口の中を清潔に保つことは、①「食べる」「話す」などの口腔の機能の維持・回復、②虫歯・歯周病・口内炎の予防による歯の維持、③肺炎や敗血症など感染症の予防、④心疾患、糖尿病などの全身疾患の予防、改善、⑤口腔粘膜炎の予防・症状を軽減する効果があるといわれています。

酸素療法や、免疫力・抵抗力が低下してしまう治療などを行うと、口腔内に乾燥や粘膜炎、口腔感染症が起りやすくなります。特に抗がん剤や放射線治療を行うと、高頻度に口腔粘膜炎などの合併症が起きます。口腔ケアを行うことで二次感染を防ぐことができ、これらの重篤化を防ぐことができるといわれています。

当院では、がん治療を行う患者さんに対して地域の歯科医院と連携し、入院前から入院中、退院後まで、継続した口腔機能管理を行っています。口腔ケアチームでは、口腔内に問題を生じた、あるいは生じる可能性がある患者さんの口腔内のチェックを定期的に行い、病棟看護師とともに口腔ケアを実施し、口腔ケアの方法の提案をしています。



～ 検診風景～

口腔ケアチームメンバー

当院の口腔ケアチームは、歯科医師、歯科衛生士、摂食・嚥下障害看護認定看護師、各部署の担当看護師で連携し活動しています。



今号は、前回の第14号に引き続きチーム医療を特集しました。今回で前回と合わせて計7チーム紹介させていただきました。次号は、もう1チームの紹介と新たな特集を掲載する予定です。

当院は今後も患者様を中心に、医師、看護師及びコメディカルが連携し、より良い医療を提供できるように努めてまいります。

引き続き「うらら」では当院の新しい動きや、特徴などをお知らせさせていただきます。